

あなたを励ますプログラム

- 全ての生徒が「学校が楽しい」と思える学校づくり -



江戸川区立篠崎中学校
あなたを励ます委員会

あいさつ

私たち江戸川区立篠崎中学校の「あなたを励ます委員会」のメンバーは、本年度のはじめに急遽、若手教員に声の掛かった特別委員会として結成されました。

招集された理由は、後でわかったことですが、以下のとおりです。

○本校の不登校及び不登校傾向の生徒の実態を踏まえ、全ての生徒が学校に登校したいと思うようなプログラム作成すること。

本校では、昨年度から「学びの多様化」をスローガンに、チャレンジクラスの設置、多様な部活動（ダンス部、ヨガ部、ボードゲーム部、トレーニング部）の設置、キャリア教育の推進（地域の方々による第三学年全員面接）の他、地域ボランティアへの参加の促進など、地域学校協働本部を中心に、地域の方々のお力を借りて様々な取り組みに励んで参りました。

一方で、本校の不登校や不登校傾向の割合は、年々伸びるばかりで、本校校長は、校内職員の今まで以上の取り組み強化を図りたいとの思いだったようです。

そこで、私たちは、本ミッションを受け、様々な取り組みについて意見を出し合っていました。答えが出ません。特に、全ての先生方の労力や時間等の課題を考えると、皆さんから協力が得られそうなアイデアは中々生まれませんでした。

そこで、夏以降再度、先輩教員の方々にもアドバイスをもらいながら、本プログラムを完成させてきました。さらには、本プログラムを学校全体で取り組むにあたっては、事例集などを作成しながら、すぐに実行に移せるような準備も進めてきました。このプログラムが次年度円滑に進むよう心から祈っている次第です。

最後になりますが、本年度の本プログラムやグループエンカウンター参考事例をまとめるにあたり、御助言をいただきました皆様、そして、このような機会を与えて下さった本校管理職に深く御礼を申し上げますとともに、本校の全ての生徒が「学校が楽しい」という未来を約束し御挨拶といたします。

令和8年2月

江戸川区立篠崎中学校
あなたを励ます委員会
委員長 佐々木 恭平

もくじ

あいさつ	P2
もくじ	P3
第1章 基本的な考え方	P4
1 本校の実態	P5
2 背景	P6
3 あなたを励ますプログラムの作成	P6
第2章 あなたを励ますプログラム	P8
資料	P13
○エンカウンター参考事例	P14
○生徒会予算の用途検討について	P21
○達人ちゃん表彰要項	P24
参考・引用文献	P25
令和7年度 江戸川区立篠崎中学校 あなたを励ます委員会	P26

第1章

基本的な考え方



第1章 基本的な考え方

1 本校の実態

(1) 不登校出現率

本校の不登校出現率は以下のとおりであり、年を追うごとに、その割合は高まっている。

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1学年	11	15	11	14	21
2学年	16	22	24	23	20
3学年	10	15	25	15	25
合計	37	52	60	52	66
全生徒数	589	619	659	643	665
出現率	6.28%	8.40%	9.10%	8.09%	9.92%

(2) QUテストの現状

<第一学年>

	令和5年		令和6年		令和7年	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月
満足	60	63	58	58	66	69
非承認	17	12	13	9	9	4
侵害行為	8	9	10	17	15	14
不満足	16	16	20	17	11	13
要支援	5.6	4	5.6	4.9	2.6	2.1

<第二学年>

	令和5年		令和6年		令和7年	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月
満足	64	60	60	60	69	66
非承認	9	13	11	10	8	10
侵害行為	11	11	10	12	10	13
不満足	16	16	18	17	14	11
要支援	2.6	4.0	5.2	4.4	2.4	3.3

<第三学年>

	令和5年		令和6年		令和7年	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月
満足	56	60	71	79	70	72
非承認	17	14	8	6	8	8
侵害行為	10	9	10	6	8	5
不満足	17	17	11	10	15	15
要支援	4.1	3.0	4.2	1.6	4.3	3.2

2 背景

(1) 令和7年度までの本校の取組

本校では、上記事態を受けて、令和5年度に「生徒理解に基づいた支の充実」を基本方針に掲げ、

①子どもの権利条約に基づいた「きまり」の見直し

②交換連絡ノートによる個々の生徒の理解を実施してきた。

しかし、実態のとおり、十分な効果を得ることが出来なかった。

そこで、令和6年度は、教員による「いいところみつけ」を実施し、個々の子供たちに向き合い取組を強化したが、この年も、各教員等の力が十分に発揮されず、大きな成果には結びつかなかった。

(2) 本校としての更なる取組の強化

令和5～6年度の取組を踏まえ、教師からの褒めるという行為は、もちろん子どもたちにとって励みになり、今後も継続していくべきことではある。一方で、不登校の原因である無気力や人間関係等を視野に入れると子どもたち同士の人間関係を良好にする支援が必要不可欠である。さらには、そのような人間関係を構築させるため、各担任には、子どもたちの人間関係を深く理解させることが必要不可欠であると考えたことが、本プログラムの作成にいった背景である。

3 あなたを励ますプログラムの作成

(1) 生活指導の目的*

生活指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

(2) あなたを励ますプログラムの作成の目的

上記、生活指導の目的を受け、以下の生活指導の実践上の視点**を踏まえた取組を教科等横断的に行い、生徒指導の目的に期する。

①自己存在感の感受

児童生徒の教育活動の大半は、集団一斉型か小集団型で展開されます。そのため、集団に個性が埋没してしまう危険性があります。そうならないようにするには、学校生活のあらゆる場面で、「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感

することが大切です。また、ありのままの自分を肯定的に捉える自己肯定感や、他者のために役立った、認められたという自己有用感を育むことも極めて重要です。

②共感的な人間関係の育成

学級経営・ホームルーム経営（以下「学級・ホームルーム経営」という。）の焦点は、教職員と児童生徒、児童生徒同士の選択できない出会いから始まる生活集団を、どのようにして認め合い・励まし合い・支え合える学習集団に変えていくのかということに置かれます。失敗を恐れず、間違いやできないことを笑わない、むしろ、なぜそう思ったのか、どうすればできるようになるのかを皆で考える支持的で創造的な学級・ホームルームづくりが生徒指導の土台となります。そのためには、自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係をいかに早期に創りあげることが重要となります。

③自己決定の場の提供

児童生徒が自己指導能力を獲得するには、授業場面で自らの意見を述べる、観察・実験・調べ学習等を通じて自己の仮説を検証してレポートする等、自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験が何より重要です。児童生徒の自己決定の場を広げていくために、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていくことが求められます。

④安全・安心な風土の醸成

児童生徒一人一人が、個性的な存在として尊重され、学級・ホームルームで安全かつ安心して教育を受けられるように配慮する必要があります。他者の人格や人権をおとしめる言動、いじめ、暴力行為などは、決して許されるものではありません。お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送れるような風土を、教職員の支援の下で、児童生徒自らがつくり上げるようにすることが大切です。そのためには、教職員による児童生徒への配慮に欠けた言動、暴言や体罰等が許されないことは言うまでもありません。

(3) 策定時期

令和8年2月完成

(4) プログラム実施時期

令和8年4月～

(5) 本プログラムの実施による期待する数値目標

hyper-QU「2回目」において、
学級生活不満足度群要支援群が全体の10%以下

<参考> _____

「*」「**」…「生徒指導提要」令和4年12月文部科学省による

第2章

あなたを励ます

プログラム



中学校第1学年「あなたを励ますプログラム」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	あなたを励ます教育に関わる学級目標を設定させる。	「L-Gate」を活用しての生徒理解を深め、教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係を築く。全ての生徒の学校生活への適応を図る。				一人一人が、個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定することにより、学級の一員として認められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。				言語環境の適正化を図り、教室・廊下の掲示物等を整え、教室環境の整備を図る。	一年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる指導をする。		
	ガイダンス機能の充実を図る。		朝の会・帰りの会等 他者を励ますことに関する1分スピーチに取り組む										
各教科	【国語】 (言葉に出会うために) 詩の音読を通して、発表の際にどう声を届けるか、発表しやすいようにどのようにつまみか、相手意識の醸成を図る。	【数学】 (平面図形) 作図方法について互いに教え合い、協力して課題を達成することで、他者との協働の中で自己肯定感を高める。	【理科】 (実験の結果・考察の共有) 実験を協力して行い、結果や考察を共有し、いろいろな考え方を理解し、話し合いをすることで共感的な人間関係を深める	【保健体育】 (水泳) パティでの観察と対話を通して、互いの泳ぎの違いを理解するように促す。それにより、相手を理解した上で言葉を選び伝える力を育成する。	【英語】 (Speech test) ALTに向けた日本のおすすめの食べ物について調べ、原稿を作成することで、どのように話せば、より伝わるかを考え、自らの意志で伝えようとする力を育てる。	【音楽】 (合唱パート練習) 生徒からパートリーダーを選出し、お互いの声を聴き合いながら良さを見つけ、褒め合うことで自己肯定感を高めていく。	【美術】 (マイマークのデザイン) 自分をあらわすシンボルマークの制作において、自身の内面や自分らしいイメージを基にマークをデザインすることで自己決定を促す。	【技術】 (材料と加工の技術) 木工製作においてテーマは「自分の生活に役立つものを製作しよう」。自ら考え製作する力を身につける。	【家庭科】 (生活を豊かにするもの製作) キーホルダー製作では自分の好きな生物を選択し、オリジナリティのある装飾をデザインして表現することで、自己決定の場を設定する。		【社会】 (オセアニア州) 多文化共生社会を学ぶことで、文化や考え方が違っていても同じ社会で生きていることを理解し、多様性を受け入れる態度を育む。		
特別の教科道徳	友情、信頼 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	希望と勇気 克己と強い意志 より高い目標を設定し、その達成を目指し希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げることを。		よりよい学校生活 集団生活の充実 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくることとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。		思いやり、感謝 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	相互理解、寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	社会参画 公共の精神 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	生命の尊さ 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	向上心、個性の伸長 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。		より良く生きる喜び 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	
読書科・総合	読書科【朝読書】(通年) 年間を通しての読書を通して、自己の考えを深める。		読書科【調べる学習】 情報収集		読書科【調べる学習】 社会課題の解決に向けた自己の考えの構築(まとめ・表現)			職業調べ【調べる学習】 職業を調べることにより、自らの進路を考えさせる。					
特別活動	学級活動【自分や学級の目標】 学年としての自分や学級の目標を設定させる。	学校行事【運動会】 学級全体を意識し互いに自己肯定感を育む。	生徒会【悩みに応える】 生徒会が募集した悩みについて回答を掲示し、他者の理解を図る。			学級活動【イカター】 「協働期」 協働・役割意識の育成	学校行事【学芸発表】(合唱コン) 学級全体を意識し、互いに自己肯定感を育む。	生徒会活動【予算特別委員会】 生徒会予算の使い道について、特別委員会にて決定し、自己決定を促す。	学級活動【イカター】 「葛藤期」「中だるみ期」 感情の言語化・対人スキルの向上		学級活動【イカター】 「振り返り期」 自己肯定感の育成・仲間からのフィードバック	生徒会活動【三年生を送る会】 在校生としてあたたかく卒業生を贈る態度を養う。	
	学級活動【イカター】 「導入期」 担任自己紹介 ※事例集1参照		学級活動【イカター】 「関係形成期」 他者理解 多様性の受容									学級活動【イカター】 「統合期」 関係の統合・次年度への橋渡し	
その他	保護者会 学校からあなたを励ますプログラムの周知を図る。		QUテスト	三者面談				いじめ・体罰アンケート	QUテスト		いじめ・体罰アンケート	達人ちゃん表彰	
	ほっとルーム(通年) 別室を設置してのほっとでき場所を確保する。		いじめ・体罰アンケート	達人ちゃん表彰式 挨拶運動(通年)			篠中フェスタ 道徳公開講座		三者面談 達人ちゃん表彰		学校運営協議会による学校評価と今後の課題についての協議		

・・・自己存在感の感受の視点からの取組

・・・自己決定の場の提供の視点からの取組

・・・共感的な人間関係の育成の視点からの取組

・・・授業以外における「あなたを励ます」に関わる取組

中学校第2学年「あなたを励ますプログラム」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	あなたを励ます教育に関わる学級目標を設定させる。 生徒相互の関係を把握する。	自分の大切さを認めることを中心とした指導 「L-Gate」を活用しての生徒理解を深め、教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係を築き、全ての生徒の学校生活への適応を図る。				他の人の大切さを認めることを中心とした指導 一人一人が、個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定することにより、学級の一人として認められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。				互いの大切さを認めることを中心とした指導 一年間の学校生活を振り返らせ、自己の成長を確認する。			
朝の会・帰りの会等 他者への感謝に関する1分スピーチに取り組む													
各教科	【国語】 (意見を聞き、整理して検討する) 議論するに当たって、発言者の立場や意見の根拠を検討し、なぜそのような意見になるのか考えることで、相手の立場も考慮して議論する姿勢を育てる。	【数学】 (確率) 実験の予想と結果の違いについて、話し合い、互いの意見を褒め合うことで、自信をもって自分の意見を表現する力を育てる。		【理科】 (実験の結果・考察の共有) 実験を協力して行い、結果や考察を共有し、いろいろな考え方を理解し、話し合いをすることで共感的な人間関係を深める	【英語】 (ポスター制作) 4人組で日本のおすすめスポットを考えることで、グループのメンバーと協働的に作成をしながら、人間関係を深めていく。	【音楽】 (合唱パート練習) 生徒からパートリーダーを選出し、お互いの声を聴き合いながら良さをを見つけ、褒め合うことで自己肯定感を高めていく。	【美術】 (作品鑑賞) アートカードを用いた鑑賞活動を通じて、人それぞれの表現方法を学び、グループで意見を共有することでさまざまな見方や感じ方を深めていく。	【技術】 (材料と加工の技術) 金属キーホルダー製作において、自分の好きなデザインを設定する。自己決定の場を設定する。	【家庭科】 (献立作り) 献立作成では、特別支援学級と連携し、班ごとに献立を作成する。多様な他者と協働することの重要性を実感する。	【保健体育】 (陸上：長距離) 単元の最初にタイムを計り、それを基に課題を把握する。課題を解決するために、提示した練習の中から選択し、自分で授業計画を立てる。自分で立てた計画でどのような変化があるか実感するとともに、自己肯定感を育てる。		【社会】 (地域の在り方) 自分で選んだ、身近な地域の課題を取り上げ、解決策を調べる活動を行う。調査結果を基に、自分自身ができることを考えさせることで、自己決定の場を設定する。	
特別の教科道徳	相互理解、寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。		思いやり、感謝 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	社会参画 公共の精神 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。		希望と勇気 克己と強い意志 より高い目標を設定し、その達成を目指し希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる		友情、信頼 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	生命の尊さ 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	よりよい学校生活 集団生活の充実 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくることとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	向上心、個性の伸長 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	より良く生きる喜び 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	
読書科・総合	読書科【朝読書】(通年)年間を通しての読書を通して、自己の考えを深める。	読書科【調べる学習】社会課題の発見・情報収集							チャレンジ・ザ・ドリーム【職場体験】職場体験を通して、自分を知る	読書科【調べる学習】情報収集、整理・分析			
特別活動	学級活動【自分や学級の目標】 学年としての自分や学級の目標を設定させる。 生徒会活動【新入生を迎える会】 在校生としてあたたかく新入生を向かえる態度を養う。	学校行事【運動会】 学級全体を意識し互いに自己肯定感を育むとともに学校全体を意識する。 学級活動【Iカク-】 「導入期」自己紹介・自己理解	生徒会【悩みに応える】 生徒会が募集した悩みについて回答を掲示し、他者の理解を図る。	学級活動【Iカク-】 「関係形成期」他者理解 多様性の受容			学校行事【学芸発表】(合唱コン) 学級全体を意識し、自己肯定感を互いに育むとともに、学校全体を意識する。 学級活動【Iカク-】 「協働期」協働・役割意識の育成	生徒会活動【予算特別委員会】 生徒会予算の使い道について、特別委員会にて決定し、自己決定を促す。	学級活動【Iカク-】 自己肯定感の育成仲間からのフィードバック	学級活動【Iカク-】 「葛藤期」「中だるみ期」感情の言語化・対人スキルの向上		生徒会活動【三年生を送る会】 在校生としてあたたかく卒業生を贈る態度を養う。 学級活動【Iカク-】 「統合期」関係の統合・次年度への橋渡し	
その他	保護者会 学校からあなたを励ますプログラムの周知を図る。 ほっとルーム(通年) 別室を設置してのほっとでき場所を確保する。	QUテスト いじめ・体罰アンケート	三者面談 達人ちゃん表彰式 挨拶運動(通年)				篠中フェスタ 道徳公開講座	いじめ・体罰アンケート	QUテスト 三者面談 達人ちゃん表彰		いじめ・体罰アンケート 学校運営協議会による学校評価と今後の課題についての協議	達人ちゃん表彰	

···自己存在の感受の視点からの取組
···自己決定の場の提供の視点からの取組
···共感的な人間関係の育成の視点からの取組
···授業以外における「あなたを励ます」に関わる取組

中学校第3学年「あなたを励ますプログラム」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	あなたを励ます教育に関わる学級目標を設定させる。 生徒相互の関係を把握する。	「L-Gate」を活用しての生徒理解を深め、新しい学級への適応を図り、望ましい人間関係を築く。ガイダンス機能の充実を図る。				自己の良さを発揮し、個性を伸ばす適切な進路の選択が主体的に適切な進路選択が主体的にできるよう支援する。進路にかかわる相談機能の充実を図る。進路選択にかかわって、家庭・保護者との連携を図る。				これまでの学校生活を振り返り、他者への感謝の気持ちをもたせるとともに、これからの自己の生き方を考えさせる。			
	朝の会・帰りの会等 人権に関する1分間スピーチに取り組む												
各教科	【国語】 (意見を聞き、適切さを判断する) 意見を聞く際には根拠の適切さを評価しつつも、話し手は多様な考え方をもち、そのどれもが否定すべきものではないことを理解させ、誠実に受け止め検討する態度を醸成する。	【数学】 (平方根) 様々な面積の正方形をかく活動を通して、班での対話を通じて多様な考え方に触れ、互いの工夫や考え方を認め合う態度を育成する。	【理科】 (実験の結果・考察の共有) 実験を協力して行い、結果や考察を共有し、いろいろな考え方を理解し、話し合いをすることで共感的な人間関係を深める	【音楽】 (合唱パート練習) 生徒からパートリーダーを選出し、お互いの声を聴き合いながら良さをを見つけ、褒め合うことで自己肯定感を高めていく。	【英語】 (Talking test) ALTとの即興的なやり取りにおいて、テーマを自身で決定することで、どのように伝えるか、reactionをするかを考えることで、自己決定の場を与え、2分30秒の即興的な対話を行う。	【社会】 (私たちの暮らしと現代社会) 現代社会を捉える枠組みとして、「対立と合意」、「効率と公正」などの考え方に着目し、個人の尊厳と人権の尊重の意義について理解を深める。	【美術】 (パッケージデザイン) パッケージの鑑賞活動において気づきや工夫点について話し合うことで、さまざまな表現のよさや美しさを感じ取り、共感的な態度を育てる。	【保健体育】 (球技 ハンドボール) 単元前半の授業で、それぞれの課題に応じた練習方法を提示する。単元後半の授業では、それぞれのチームの課題を解決するために、どのような練習に取り組めばよいか、自己決定の場を提供する。	【家庭科】 (幼児期の生活と家庭) 幼児期の経験を振り返りながら、グループで共有し家庭環境の違いや共通点に気づくことで、互いの背景を理解し合い、他者との共感的な人間関係を育成する。	【技術】(プログラミングによる計測制御) 発展的な学習として班でプログラミング学習を行う。教え合い、認め合いの学習を行う。			
特別の教科道徳	相互理解、寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	向上心、個性の伸長 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	生命の尊さ 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	友情、信頼 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。		社会参画 公共の精神 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。			より良く生きる喜び 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	希望と勇気 克己と強い意志 より高い目標を設定し、その達成を目指し希望と勇気もち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	思いやり、感謝 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	よりよい学校生活 集団生活の充実 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一人としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	
読書科・総合	読書科【朝読書】(通年)年間を通しての読書を通して、自己の考えを深める。		読書科【調べる学習】社会課題の解決に向けた自己の考えの構築(まとめ・表現)										
特別活動	学級活動【自分や学級の目標】 最終学年としての自分や学級の目標を設定させる。 生徒会活動【新入生を迎える会】 在校生としてあたたかく新入生を向かえる態度を養う。	学校行事【運動会】 学年が一致団結してのソーラン演技で、篠中生としての所属意識を高める。 学級活動【Iカケ】 「導入期」自己紹介・自己理解	生徒会【悩みに応える】 生徒会が募集した悩みについて回答を掲示し、他者の理解を図る。 学級活動【Iカケ】 「関係形成期」他者理解 多様性の受容		学級活動【Iカケ】 「協働期」協働・役割意識の育成	学校行事【学芸発表】(合唱コン) 最上級生としての合唱を示し、篠中生としての所属意識を高める。 学級活動【面談練習】 地域の方々、面談練習を行い、自己決定を促す。	生徒会活動【予算特別委員会】 生徒会予算の使い道について、特別委員会にて決定し、自己決定を促す。	学級活動【Iカケ】 自己肯定感の育成 仲間からのフィードバック	学級活動【Iカケ】 「葛藤期」「中だるみ期」感情の言語化・対人スキルの向上		学級活動【Iカケ】 「統合期」関係の統合・次年度への橋渡し	学級活動【夢のなる木】 10年後の自分を夢のなる木に実らせ、自分の将来を想起させる。	
その他	保護者会 学校からあなたを励ますプログラムの周知を図る。 ほっとルーム(通年) 別室を設置してのほっとでき場所を確保する。	QUテスト いじめ・体罰アンケート	三者面談 達人ちゃん表彰式 挨拶運動(通年)	上級学校見学	三者面談 篠中フェスタ 道徳公開講座	いじめ・体罰アンケート	QUテスト 三者面談 達人ちゃん表彰	いじめ・体罰アンケート 学校運営協議会による学校評価と今後の課題についての協議	達人ちゃん表彰				

...自己肯定感の感受の視点からの取組
 ...自己決定の場の提供の視点からの取組
 ...共感的な人間関係の育成の視点からの取組
 ...授業以外における「あなたを励ます」に関わる取組

資料



○ エンカウンター参考事例

第一学年

導入期	担任リサーチ (クイズ) 事例 1	<p style="text-align: center;">担任リサーチ!! 〇年〇組</p> <p style="text-align: center;">〇</p> <ol style="list-style-type: none"> 出身地は、[東京都 埼玉県 長崎県 広島県 佐賀県 山形県] です。 次の食べ物の中で一番好きなのは、[すし 焼肉 三色ごぼん カレー ポテトフライ] です。 高校時代の部活動は、[テニス部 剣道部 バスケ部 バレー部 野球部 サッカー部] です。 血液型は、[A型 B型 O型 AB型] です。 一番好きな菓子類は、[ビュレグス チョコパイ ほかうけ じゃがりこ] です。 とにかく好きな飲み物は? [抹茶 ジャスマンティー ミルクティー お酒] です。 今、一番欲しい物は? [鞆に合い傘 キャンピングカー 川行 燃焼機] です。 小学校の時は、 [琴理さん 西條さん スポーツ選手 大工さん 学校の先生 毛糸] に憧れていたんです。 好きな歴史上の人物は、 [織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 坂本龍馬 舟木尊 大久保純] です。 休日の過ごし方は、 [料理 DVD鑑賞&読書 掃除 DIY ゲーム] です。 旅行に行きたい場所は、 [韓国 バリ島 イタリア 北海道 沖縄 徳島] です。 先生の歳は、 [] 歳です。 先生のクラスのおじわりポイント [整理整頓 授業の準備&片付け 積極的 学力向上] です。 今年の目標は [仲を動かす 100冊読書 部活 柔軟性の向上] です。 <p>こんな私ですが、どうぞよろしくお願いします ('ω') /</p>
手順	<p>○あらかじめ 10～15 問程度のワークシートを作成しておく。</p> <p>①自己紹介をクイズ形式で行うことを伝える。</p> <p>②まず個人で考えさせる。</p> <p>③グループで話し合っ、グループの答えを決めるよう指示する。</p> <p>④すべてのグループの答えが出そろったところで、1問ずつ正解を言いながら自己紹介をしていく。</p>	
備考	<p>※一人の生徒だけがまとめることのないように声掛けを行い配慮する。</p> <p>※時間がある場合は、生徒から追加の質問を受け付ける。その際、答えられない質問もあることをしらせておく。</p>	

関係形成期	出会いの BINGO 事例 2	<table border="1"> <tr> <td>5回じゃんけんして3勝する</td> <td>海外にいったことがある</td> <td>留学旅行では合宿経験より</td> <td>学習旅行で思い出があったことがある</td> <td>運動量をやったことがある</td> </tr> <tr> <td>運動会で優勝したことがある</td> <td>歌と絡もらう他の方が好き</td> <td>担任の先生の名前を7か7で言える</td> <td>早口言葉を3回言う「少女の力(力)新着新着人(力)カカ」</td> <td>親や兄弟も九中生だ</td> </tr> <tr> <td>校歌の1番を一緒に歌う</td> <td>(女子限定)私服ではスボンよりスカート派</td> <td>*FREE*</td> <td>(男子限定)運動部に入っているまたは週3日以上運動する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>九中で1人選手になったことがある</td> <td>しっかり選手する(3秒以上)</td> <td>九中で指揮者または伴奏者になったことがある</td> <td>2年間留校した</td> <td>英語と数学どちらかといえば数学が得意</td> </tr> <tr> <td>文化部に入っている</td> <td>前回の3試合で、立っていた</td> <td>行きたい高校がもう決まっている</td> <td>1か月に3回以上、本を読む</td> <td>前週して手の平が全部赤につく</td> </tr> </table>	5回じゃんけんして3勝する	海外にいったことがある	留学旅行では合宿経験より	学習旅行で思い出があったことがある	運動量をやったことがある	運動会で優勝したことがある	歌と絡もらう他の方が好き	担任の先生の名前を7か7で言える	早口言葉を3回言う「少女の力(力)新着新着人(力)カカ」	親や兄弟も九中生だ	校歌の1番を一緒に歌う	(女子限定)私服ではスボンよりスカート派	*FREE*	(男子限定)運動部に入っているまたは週3日以上運動する		九中で1人選手になったことがある	しっかり選手する(3秒以上)	九中で指揮者または伴奏者になったことがある	2年間留校した	英語と数学どちらかといえば数学が得意	文化部に入っている	前回の3試合で、立っていた	行きたい高校がもう決まっている	1か月に3回以上、本を読む	前週して手の平が全部赤につく
5回じゃんけんして3勝する	海外にいったことがある		留学旅行では合宿経験より	学習旅行で思い出があったことがある	運動量をやったことがある																						
運動会で優勝したことがある	歌と絡もらう他の方が好き		担任の先生の名前を7か7で言える	早口言葉を3回言う「少女の力(力)新着新着人(力)カカ」	親や兄弟も九中生だ																						
校歌の1番を一緒に歌う	(女子限定)私服ではスボンよりスカート派	*FREE*	(男子限定)運動部に入っているまたは週3日以上運動する																								
九中で1人選手になったことがある	しっかり選手する(3秒以上)	九中で指揮者または伴奏者になったことがある	2年間留校した	英語と数学どちらかといえば数学が得意																							
文化部に入っている	前回の3試合で、立っていた	行きたい高校がもう決まっている	1か月に3回以上、本を読む	前週して手の平が全部赤につく																							
手順	<p>①右シートを持って自由に歩き、出会った人に「こんにちは」とあいさつする。</p> <p>②マスの中から、相手に“Y e s”と答えてもらえそうなものを1つ選んで質問する。</p> <p>答えが“Y e s”だったら、そのマスに相手のサインをもらう。</p> <p>③質問以外が書かれているマスは、その指示に従う。</p> <p>④いろいろな人に質問し、できるだけ多くのサインを集め、ビンゴを達成させる。</p>																										
備考	<p>①決められたルールに従う。</p> <p>②話を聞く時は最後まできちんと聞く。</p> <p>③人の傷つくことを言ったり批判したりしない。</p>																										

協働期	先生ばかりが住んでいるマンション事例3	
手順	<p>①班に1枚マンションの配置図と、1セット24枚のヒントカードを配る。</p> <p>②ヒントカードを班員(4~5人)に均等に分ける。</p> <p>③ヒントカードを参考に、正しいマンションの配置図を完成させる。</p> <p>④終わった班ごとに答え合わせを行う。</p>	
備考	<p>※ヒントカードは必ず、口頭で班員に伝えることを徹底させる。(自分が配られたヒントカードは誰にも見せない)</p> <p>※メモを取ることは可とするが、ヒントカードを書き写すのはNGだと伝える。</p> <p>※教員は各班の進み具合を見ながら、全く進まない班には適宜支援を行う。</p>	

葛藤期	感情を表現しよう！事例4	
手順	<p>①<音声による表現></p> <p>2人1組で、自分で選んだ「感情」で物語を読み上げる。</p> <p>②相手は、目を閉じて聞き、伝わってきた感情を言う。</p> <p>③<身体による表現></p> <p>2人1組で、シナリオにある感情をジェスチャーで表現する。</p> <p>④<グループ・スカルプチュア></p> <p>グループごとに、一つの感情を選び、その感情を表現する銅像を考える。</p> <p>⑤みんなでその銅像になりきり、他グループにどんな感情を表しているか当ててもらおう。</p>	
備考	<p>※基本的に「喜怒哀楽」の感情の中から選ぶ。</p>	

第二学年

導入期	質問じゃんけん 事例1		質問じゃんけん 質問例
手順	<p>①ペアをつくる</p> <p>②じゃんけんで勝った人が1つ質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物、スポーツ、趣味、特技など。 ・答えたくない質問は「パス」。 ・時間は2分間。 <p>③じゃんけんで負けてばかりで、相手の情報が少ない人は、終了後に5つまで質問できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物は？ ・得意なことは？ ・最近、はまっていることは？ ・好きな色は何色ですか？ ・よく見るテレビ番組は？ ・「これだけは譲れない」ものは？ ・将来の夢は？ ・好きな教科は？ ・休日は何をしていることが多い？ ・おすすめの本は？ ・行ってみたい国はどこですか？ ・好きなタレントは誰ですか？ ・趣味は？ 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・質問が思い浮かばない場合は、質問例を参考にさせる。 ・相手の情報を覚えておき、他己紹介へつなげる。 		

関係形成期	気を利かせて 事例2		
手順	<p>①ワークシートを1人1枚配布する。</p> <p>②ワークシートを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を発した人の気持ちを書く。 ・その人にどんな言葉を返すか書く。 <p>③隣の人と交換し、異なっていること、同じことについて話し合う。</p>	<p>気を利かせて シートA 年 組()</p> <p>()の中に、発言者の気持ちを書き、「」には返す言葉を書きましょう。</p> <p>例 「お日マア？」</p> <p>(いっしょに遊びたいな) (電話したいな) (飲みたいことがあるんだけど)</p> <p>「ヒマだよ」「何かこまっていることでもあるの？」</p> <p>「あなたは感じがいい人です」</p> <p>1 ()</p> <p>「」</p> <p>「この係活動1人でやるのはつらいなあ」</p> <p>2 ()</p> <p>「」</p> <p>「久しぶりに小学校の先生に会うのに古い洋服しかないな」</p> <p>3 ()</p> <p>「」</p> <p>「お金持ってる？」</p> <p>4 ()</p> <p>「」</p> <p>「おれ、来月転校なんだ」</p> <p>5 ()</p> <p>「」</p> <p>気を利かせて シートB 年 組()</p> <p>「将来何になりたいの？」(異性の友達から)</p> <p>1 ()</p> <p>「」</p> <p>「〇〇って人気あるよね」(友達より)</p> <p>2 ()</p> <p>「」</p> <p>「〇〇ちゃんは通学費行ってるわよ」(親より)</p> <p>3 ()</p> <p>「」</p> <p>「君は番仕活動に関心があるかな」</p> <p>4 ()</p> <p>「」</p> <p>「うるさいなあ」(1人の中で、知らない人に)</p> <p>5 ()</p> <p>「」</p>	
備考	<p>(事後活動・発展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述された言葉を学校だよりで紹介。 ・正反対の受け取り方があった場合などに、それを題材にディスカッションする。 		<p>吉澤編 (2020)、『構成的グループエンカウンター・ミニエクササイズ 50選 中学校版』、明治図書、94-95。</p>

協働期	権利の熱気球 事例3	<p style="text-align: center;">権利の熱気球 ワークシート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自分 順位</th> <th>権 利</th> <th>班員名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>① 自分のだけの部屋を持つ権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>② きれいな空気を吸う権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>③ いじめられたり、命令・服従を強制されない権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>④ 愛し、愛される権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤ 毎年、旅行して休養を楽しむ権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥ みんなと異なっている、違っていることを認められる権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦ お小遣いをもらう権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑧ 正直に意見を言えて、それを聞いてもらえる権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑨ 毎日、十分な食べ物ときれいな水を与えられる権利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑩ 選べる・休養できる時間をもつ権利</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	自分 順位	権 利	班員名		① 自分のだけの部屋を持つ権利			② きれいな空気を吸う権利			③ いじめられたり、命令・服従を強制されない権利			④ 愛し、愛される権利			⑤ 毎年、旅行して休養を楽しむ権利			⑥ みんなと異なっている、違っていることを認められる権利			⑦ お小遣いをもらう権利			⑧ 正直に意見を言えて、それを聞いてもらえる権利			⑨ 毎日、十分な食べ物ときれいな水を与えられる権利			⑩ 選べる・休養できる時間をもつ権利	
自分 順位	権 利		班員名																																
	① 自分のだけの部屋を持つ権利																																		
	② きれいな空気を吸う権利																																		
	③ いじめられたり、命令・服従を強制されない権利																																		
	④ 愛し、愛される権利																																		
	⑤ 毎年、旅行して休養を楽しむ権利																																		
	⑥ みんなと異なっている、違っていることを認められる権利																																		
	⑦ お小遣いをもらう権利																																		
	⑧ 正直に意見を言えて、それを聞いてもらえる権利																																		
	⑨ 毎日、十分な食べ物ときれいな水を与えられる権利																																		
	⑩ 選べる・休養できる時間をもつ権利																																		
手順	<p>①1人1枚、ワークシートを配布する。</p> <p>②自分の考えを数字で記入。最初に10番から8番、次に1番から3番、最後に残りを決める。</p> <p>③4人班をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ずつ自分の決めた順位を発表する。 意見が出そろったところで、班の意見をまとめる。 <p>決める順番は②と同じ。</p> <p>④班の中で、一人が黒板に、班で決めた順位の10番から8番までを記入する。</p>																																		
備考	<ul style="list-style-type: none"> テーマに集中して話し合う。 一人の話は1回1分以内だが、何度話してもよい。 大声で話したり、自分の意見を押し付けない。 多数決で決めない、少数意見ほど大切に聞く。 																																		

協働期	「お絵描き伝言ゲーム！」事例4
手順	<p>① 紙は1列ごとに一枚、ペンは生徒一人1本用意する。</p> <p>② 先頭の生徒にのみお題を提示する</p> <p>③ 一人1～2分の制限時間内に各々が前の人の描いた絵を参考にお題を当てていく。</p> <p>④ 最後の人が一斉に絵を見せながらお題を発表し答え合わせをする。</p>
備考	<p>※基本的には内容に関する発言は控えるよう指導する。</p> <p>※時間を過ぎて書き足すことの無いように指導する。</p> <p>※色等で判断しないよう、号車ごとでペンの色は統一する。</p>



葛藤期 中だるみ期	お悩み相談室 ～勉強編～事例5
手順	<p>①一人5枚を目安に無記名でカードに勉強に関する悩みを記入する。</p> <p>②記入の際、丸の中には<内容の例>から選んだ番号を書き、それ以外のところに詳細を記入する。</p> <p>③班を作り全員分のカードをシャッフルした上、一人一枚引いていき、共感できる内容のカードを持っておく。</p> <p>④最後に一人一回全体に選んだカードの内容と理由を述べる。</p>
備考	<p>※真剣に聞き、決してからかうことの無いように事前に指導する。</p> <p>※自分の書いたカードは発表の際に使用しない。</p>

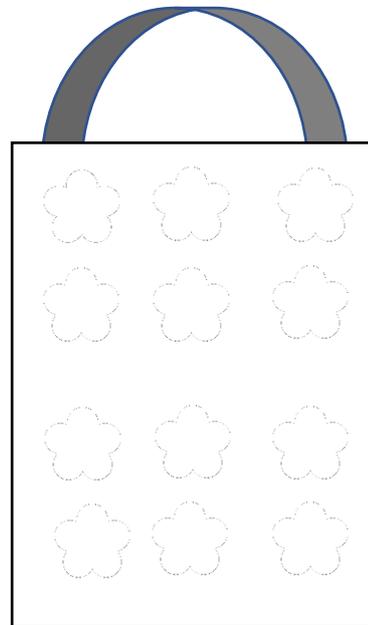
勉強の悩みカード

<内容の例>

- ① 授業 ② 勉強 ③ テスト勉強 ④ ノートのとり方
⑤ 理解・暗記の仕方 ⑥ プリントの整理の仕方 ⑦ その他

○		○	
○		○	
○		○	

統合期	<しあわせ>のシャワー 事例6
手順	<p>①B4サイズの色画用紙一人1枚と小さめの紙をクラスメイト分用意する。</p> <p>②クラスメイトの良いところや印象を小さな紙に記入する。</p> <p>③クラスを前半組、後半組に分け、片方のグループに元へ一言と共に画用紙に記入済みの紙を貼る。</p>
備考	<p>※記入内容についてはマイナスなことは書かないこととする。</p> <p>※記入した紙をデコレーションするのは可とする。</p> <p>※時間の許す限りできるだけ多くの生徒に対して書くよう指示を出す。</p>



※イメージ図

第三学年

導入期	あだ名じゃんけん 事例1
手順	<p>① 3人グループをつくる。</p> <p>② 各自、ゲーム内での自分のあだ名を決めて発表する。</p> <p>③ 3人でじゃんけんをする。</p> <p>④ 2人同じ手を出した時、その2人は互いのあだ名をすぐに呼ぶ。残りの1人は、どちらが先に呼べたか判定する。</p> <p>⑥ 先に相手のあだ名を呼べた人が1ポイント獲得。制限時間（1分～2分）の中でポイントが1番多かった人が勝ち。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長すぎるあだ名はなしとする。 ・ 2セット目以降のグループは、1位グループ、男女混合グループなどと指定してつくらせる。



関係形成期	人生いろいろ 事例2
手順	<p>① 生きていく上で大切にしたい価値観の順位付けをし、理由を書く。</p> <p>② 価値観の順位とその理由を紹介しよう。</p> <p>③ 自分と友だちの価値観を比較して、感じたことや気付いたことを書く。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師自身の価値観を話すなどして、自己開示しやすい雰囲気をつくる。 ・ 友だちの価値観を批判しないよう指示する。

人生いろいろ

①下の8つの価値観について、生きていくうえで大切にしたい価値観を考えてください。

＜8つの価値観とその内容＞	私の順位	[]	[]	[]
収入 よい給料をもらえるなど、高い収入が得られること。	1位	さんの順位	さんの順位	さんの順位
個性 自分の個性・性格・趣味・興味など。	2位			
貢献 役に立つことをすること。	3位			
家庭 生活・人生の基盤となる家族の生活の様子。	4位			
信念 自分の信じる事にさからず、確信とする意思。希望することを実現するために頑張ること。	5位			
創造 新しいものや考えを生み出すこと。未知の世界に挑戦すること。	6位			
協力 人との関係の中で自分を助かそうとすること。集団や組織の中で働きを大げにする。	7位			
地位 人の上になつて働くこと。	8位			

②あなたが、その価値観を選んだ理由を書こう。
上位（1～3位）を選んだ理由

最下位を選んだ理由

③自分と友だちの価値観の順位を比べて、感じたことや考えたこと、気づいたことなどを書こう。

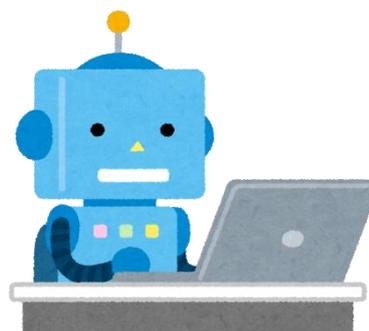
協働期	共同絵画 事例3
手順	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4～5人グループを作成する ・ 無言（身振り手振りは可）で、考えを伝えあいながら一枚の意味のある絵を完成させる。 ・ 各グループで絵とその内容を説明する。 ・ 振り返りを行い、活動で得られた気づきを分かち合う。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループに色ペンと模造紙（A3程度）を配布する。

葛藤期	人生の値段 事例4
手順	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人生を送る上で大切だと思われる16項目に値段を付ける（値段は3000万,2500万,2000万,1500万,1000万,500万） ・ 個人で考えたのち、班で1億円分の買い物を考える。 ・ 班ごとに発表する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価値観を否定しない。 ・ 値段を変えたりなどして、柔軟に活動させてもよい。



振り返り期	宝島の地図を作る 事例5
手順	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6人班で行う。 ・ 1人1枚ヒントカードを配布する。 ・ 配られたヒントカードをもとに、模造紙に地図を作成する。 ・ 宝島のある島、宝箱の色、宝箱のありかを特定する。
備考	・ 情報を書き出して表にまとめてはいけない。ほかの人のカードをみたり、自分のカードは見せない。

統合期	100年後のメッセージ 事例6
手順	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4～5名のグループを作成する。 ・ ロボットが支配する100年後の世界を想定する。 ・ そうならないためにはどんなロボットをつくればよいか討論をする。 ・ 各班で考えた100年後の世界と作ったロボットを発表する。
備考	・ 各グループに模造紙（A3程度）と付箋を配布する。



○ 生徒会予算の用途検討について

生活指導部

生徒会予算の用途検討について

- 1 目的 ①生徒の学校課題の発見、解決力を育む。
②主権者教育の一貫として、組織における予算編成から支出までのプロセスを経験させ、主体的に学校運営に関わる態度を育む。
- 2 流れ ①今年度の生徒会予算20万円(含むPTA会費からの支出10万円)について、生徒会本部・各専門委員会・各学級委員会それぞれで検討。
②生徒会本部及び専門委員会から出た案を、予算特別委員会(中央委員会)で、各専門委員長がプレゼンを行い3案程度に絞る。
③中央委員会で絞った3案を生徒会朝礼で、全校生徒にプレゼンし投票により決定。
- 3 日程

6/25(水) 生活指導部会で提案。

7/7(月) 朝礼で校長先生、PTA会長から全校生徒に生徒会予算について説明。

7/8(火) 第2回選挙管理委員会にて、立候補者に生徒会予算について説明。

7/9(水) 職員会議で教職員に周知。

10/3(金) 予算特別委員会に参加するメンバーに、生徒会予算の検討のやり方を説明。
(事務部川原さんも参加予定)
10/10(金) 各専門委員会で予算の使い道について検討、決定。

10/14(火) 予算特別委員会で各専門委員長からプレゼン。3案程度にしぼる。
(事務部川原さんも参加予定)

10/21(火) 生徒会朝礼にて、絞った3案を全校生徒に向けてプレゼン。
教室に戻って投票。

○ 達人ちゃん表彰要項

江戸川区立篠崎中学校「達人ちゃん表彰」要項

1 目的

- ・優れた技能・才能や日々の努力により秀でており、学校・地域をより良くしようと意識している生徒に対して、その生徒の努力や成果を認める機会とする。
- ・個性の伸長を図る観点から、日常的に仲間を認め、褒めることを意識できる生徒集団にするための機運醸成を図る。

2 表彰審査基準

本校、企画会議において、以下の「表彰審査基準」を満たしており、候補者も表彰を求めた者を校長が推薦し、学校運営協議委員会の承認を経た後表彰する。

<表彰審査基準>

- ・本校の在校生であること。
- ・学校生活が概ね良好で、他の模範となる者
- ・推薦内容が、他の団体等で表彰機会がない者

3 表彰

- (1) 江戸川区立篠崎中学校学校運営協議会で表彰する。
- (2) 被表彰生徒には、全校朝礼などの適切な機会に当該校長を経て伝達する。

4 応募方法

- (1) 応募用紙に必要事項を記入の上、校長室前の「達人ちゃん表彰応募箱」に投函する。
- (2) 推薦書は、別紙様式を用いる。
- (3) 応募期間は、令和7年6月～令和8年1月末までとする。

5 応募上の諸注意

- (1) 本表彰は、推薦内容が異なる場合には、複数回応募することができる。
- (2) 中学校体育連盟や中学校吹奏楽連盟等、他の団体等において、表彰もしくはその可能性がある内容については、本表彰の対象とはならない。

参考・引用文献

- 文部科学省（2022）、『生徒指導提要』、東洋館出版社。
- 長崎県教育委員会（2023）、「『望ましい人間関係を育む活動事例集 2023』 自尊感情とコミュニケーション能力の向上を目指して」、長崎県教育委員会。
- 吉澤編（2020）、『構成的グループエンカウンター・ミニエクササイズ 50 選 中学校版』、明治図書、p94-p95。
- 河村茂雄・武蔵由香編、（2017）、『かたさを突破！学級づくりエクササイズ』、図書文化社、p114-p117。
- 河村茂雄、武蔵由香編(2017)「かたさを突破！学級づくりエクササイズ」図書文化社
- 「生徒指導・教育センター eラーニングシリーズ『構成的グループエンカウンター』」岡山県総合教育センター



令和7年度 江戸川区立篠崎中学校 あなたを励ます委員会

組織				
役名	氏名	職名	教科	所属
委員長	佐々木 恭平	教諭	社会科	第一学年・生活指導
委員	本多 慶行	教諭	理科	第一学年・特別支援部
委員	長野 仁美	教諭	体育科	第一学年・教務部
委員	飯塚 草太	教諭	社会科	第二学年・DX部
委員	齋藤 涼子	教諭	数学科	第三学年・特別支援部
委員	山南 安由美	教諭	国語科	8組・学習進路部
委員	加藤 英里	教諭		養護教諭・特別支援部
委員	根津 大輔	教諭	数学科	9組・生活指導部
助言者	服部 篤史	主幹教諭	理科	第二学年・生活指導部主任
助言者	廣瀬 賢一	主幹教諭	体育科	第一学年・特別支援教育部主任
助言者	山田 大樹	主任教諭	社会科	第三学年・特別支援教育部



江戸川区立篠崎中学校

あなたを励ますプログラム

-全ての生徒が「学校が楽しい」と思える学校づくり-

令和8年2月1日発行

発行者 江戸川区立篠崎中学校

あなたを励ます委員会

所在地 〒133-0061

江戸川区篠崎町5-12-19

電話 03-3679-3001